



## 特別陳列

# 「福井藩札と江戸時代の貨幣」

— 福井藩札発行350年記念 —

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成23年9月16日(金)  
～11月13日(日)
- 休館日 10月31日(月)

今から350年前の寛文元年(1661)、福井藩は地域通貨に当たる藩札(銀札)を発行しました。現存するものとしては日本最古であり、福井藩の発行以降、諸藩が藩札を出すようになったことから、わが国の貨幣史では重要な出来事の一つに取り上げられています。

今回展示しております、金貨・銀貨・銭貨や諸藩が発行した藩札を通して、江戸時代の貨幣制度の複雑さ、その形態の美しさや面白さを知っていただければ幸いです。



慶長大判(造幣博物館蔵)

## 1 江戸時代の金貨・銀貨・銭貨

徳川幕府は全国通用の貨幣制度(「三貨制度」)を確立させた。金貨は小判1枚を1両で数える「計数貨幣」、銀貨は重さの単位である匁(1匁=3.75g)で表す「秤量貨幣」、銭貨は「寛永通宝」1個を1文で数える「計数貨幣」である。公定相場は金1両=銀50~60匁=銭4貫文(4000文)であった。

## 2 福井藩札の発行と城下の豪商

福井藩は幕府の認可を受けて、寛文元年に「藩札」(銀札)を発行した。近年では備後の福山藩に続く、全国で2番目とされているが、現存最古の藩札は福井藩札である。藩札は福井城下の豪商が札元となることで藩札の信用を高めていた。

## 3 福井藩札と若越諸藩の藩札

福井藩が藩札を出した後、しばらく藩札の通用が停止された時期もあったが、享保15年(1730)以降は、幕末維新时期まで藩札の発行を継続した。越前若狭の諸藩では、展示中の勝山藩・大野藩・丸岡藩・鯖江藩・小浜藩などが藩札を発行している。

## 4 全国諸藩の藩札

明治4年(1871)の調査で、藩札を発行した藩は全体の約8割、244藩に及んでいる。金札・銀札・銭札・米札などの種類があり、中でも銀札が多かった。札紙には各地の和紙が用いられ、形状は縦長の短冊型をしたものが多数を占める。紙の色は白色が多いが、赤・青・黄・茶なども見られる。

## 5 太政官札

「太政官札」は、明治元年(1868)5月に明治政府が最初に発行した全国流通の不換紙幣(金札)である。新政府の高官、徴士・参与となった福井藩士三岡八郎(由利公正)が発行を建議したもので、札紙には越前和紙が用いられている。



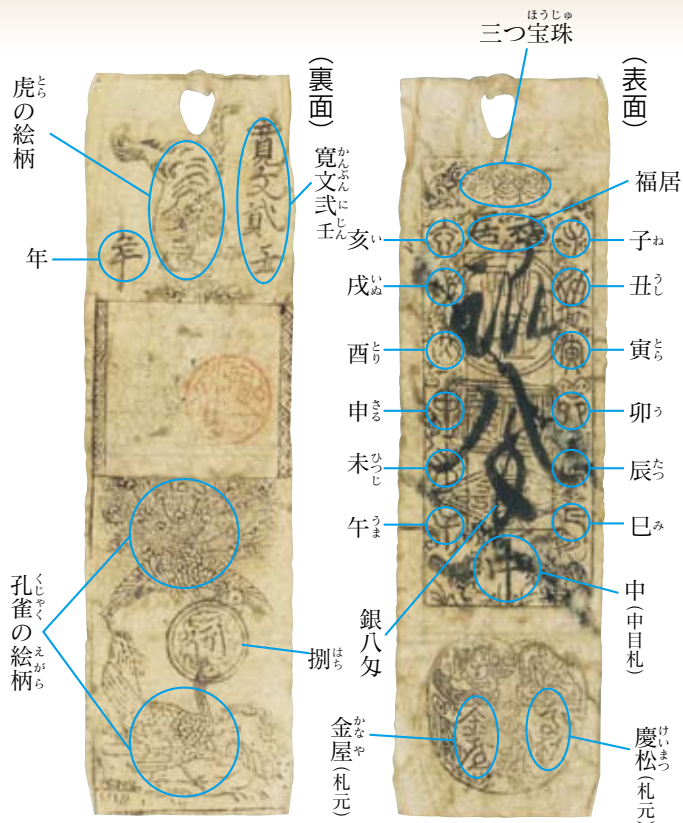
福井藩札「銀拾匁」(寛文)(金屋吉宏氏蔵)



太政官札「金拾兩」(当館蔵)

# 【福井藩札の見方】

福井藩札(寛文2年)



福井藩札(元治)



写真で掲載した寛文2年(1662)札と元治札(慶応元年(1865)より通用)を事例に福井藩札を見ることにしたい。最初の寛文2年札の表面は上部に三つ宝珠とその下に「福居」の文字があり、中央に3種類の印判が押されている。その上からは「銀八匁」と墨書され、中目札を表す「中」の文字も見える。また、その左右には「子丑寅…戌亥」と十二支の文字が配されていて、その下部には「慶松」「金屋」と札元の名が刷られている。裏面には上部に「寛文貳年」と発行年が刷られ、その間には同年の十二支(寅)である虎の絵柄が配されている。中央に2種類の印判が押され、下部には孔雀が刷られている。その上から「捌」の印判が押されているが、これは額面の「銀八匁」と対応している。

次の元治札の表面上部には「元治」の年号と大宝珠が刷られ、中央には印判が押されていて、その上から「銀百匁」と墨書されている。その左右には「銀百匁」に対応して「百・船・博・拍・璞」と数詞を表わす文字が配されている。下部には「大目札」の文字と札元と札座を兼ねる「荒木」「駒屋」の名が刷られている。裏面上部には恵比寿が配され、中央に「福井」の文字、下部に亀が刷られて、その上から2種類の印判も押されている。

寛文札と元治札に共通するのは、版木で刷られた上に印判が押され、さらに額面が墨書されていること、孔雀や亀など極めて細密な絵柄が刷られていることである。これらはいずれも贋造改作を防止するための工夫であり、さまざまな図柄の藩札が製造されていたのである。また、版木の製作は高度な技術を要するため、京都や江戸で新彫された他、年号の彫替も行われていた。そして、使用済みの古版木は焼却処分などにされた(「藩札屏風」)。

ところで、両方の札ともかなり摩耗しているが、このことはかなり通用されたことを示している。札は通用が終了すると焼却されたり裁断されたりして破棄された。

## 次回の展示

〈松平家史料展示室〉

### テーマ展「越前松平家の名品10」

平成23年11月16日(水)～平成24年1月15日(日)

松平家史料展示室 展示解説シート No.60  
平成23年9月16日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1  
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489  
担当 印牧信明  
印刷 白崎印刷株式会社  
電話 (0776)53-6300 FAX(0776)53-7068